

【創世記第38章】

「ユダの長子エルは主を怒らせていたので、主は彼を殺した。」
「彼のしたことは主を怒らせたので、主は彼をも殺した。」(7、10節)

新約聖書の初めに「アブラハムの子孫、ダビデの子孫、イエス・キリストの系図。アブラハムにイサクが生まれ、イサクにヤコブが生まれ、ヤコブにユダとその兄弟たちが生まれ、ユダに、タマルによってパレスとザラが生まれパレスにエスロンが生まれ～」とありますが、この章にでてくるユダによって生まれた子孫によってイエス・キリストが誕生しています。

ユダとタマルがどんな人だったのでしょうか？ ヤコブは自分の好きなラケルと結婚したつもりだったのに、長女のレアと無理に結婚させられ、そこで生まれた4番目の息子がユダです。ユダには3人の息子がいました。その長男エルの妻がタマルでした。エルは「主を怒らせていたので、主は彼を殺した。」と書かれています。それで弟のオナンをタマルに与えるのですが彼もまた主を怒らせたので、主は彼をも殺したのです。それで、次の弟シエラを与えるべきでしたが、また殺されては大変だと思ったのでしょうか。タマルを実家に帰したのです。タマルは子孫を残せないのは祝福を受けない事だと知っていました。ユダの妻が亡くなり、喪が明けたころ、遊女のふりをしてユダによって子供をはらむのです。何ということでしょう。この様にして、アブラハム、イサク、ヤコブの祝福が受け継がれてゆきますが、それは救い主イエス様に続くわけです。

彼らが特別罪深い人間というのではなく、罪を持って生まれた私達は神を怒らせて、殺されても仕方がない存在です。あわれみの神は、イエス・キリストを救い主として信じるだけで、その罪を赦し、また神のことばに聞き従う者として選ばれ、祝福を与えようとされています！！何と驚くべきことではありませんか？

聖書にはどうしてこんなことが書かれてあるのかと驚くような人間の醜さ、恐ろしさ、けがらわしい罪が、あからさまに書かれています。そして何と驚くべきことに、そのドロドロとした罪の家系を通して、聖なる貴いお方がお生まれになられたのです！！イエス・キリストが、如何に人間の罪のど真ん中にお生まれになられたか。その罪をご自分が背負われ、救い主としての役割を果たされたという事がよくわかります。あのような十字架のお苦しみにあわなければならなかった理由・・・自分の罪の深さ大きさを思う時、この意味が少しずつ解ってきます。この様な贖いを頂いた人間が、その大きな愛ゆえに赦され解放され、祝福を受けている事は、どんな困難、迫害にも代えがたい永遠の恵みです。26聖人はこのイエス・キリストの贖いとその愛を深く深く知り、誰よりも天に望みをおいていたのでしょうか！！だから息が絶えるまで主を賛美していたのでしょうか。彼らの歌に合わせて見物人役4000人が彼らの歌に合わせて大合唱をしたそうです。“ハレルヤ。主のしもべたちよ。ほめたたえよ。主の御名をほめたたえよ。今よりとこしえまで、主の御名はほめられよ。日の上る所から沈む所まで、主の御名がほめたたえられますように。”

「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」ローマ書 6:23



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会
Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven
主任牧師：イエス・キリスト
牧師：ダニエル大重

Siloam

【シロアム：遣わされた者】

2015.2.15 No.828

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、
主のみわざを見るであろう。
わたしがあなたとともに行うことは
恐るべきものである。

出エジプト記 34 : 10



♪ ただのカじゃあない！ 神の勝ち ♪

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)
The Lord's Cross Christian Center
<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>

